

みんなで創ろう！人が輝く元気とやま



県広報 とやま

6

2017 JUNE
NO.475

富山県フォレストリーダー協会は、富山県が行う講座で森林に関する知識を学んだ方々が、平成15年に自主的に作った組織です。現在、年齢も職業もさまざまな120名のメンバーが、ボランティアとして里山の管理や森林環境教育に取り組み、森の大切さを広く県民に伝える活動をしています。

この日開催された砺波市の県民公園頼成の森「緑に親しむ集い」では、メンバーが参加者を森の散策に案内して解説をしたり、ボランティア活動としての花壇づくりの指導をしたりしました。

また今年5月28日、魚津市を中心に開催された第68回国植樹祭では、県内7箇所植樹会場で植樹方法の指導役を務めるとともに、式典の「森づくりボランティア等のメッセージ発表」で普段の活動やその成果などを紹介しました。

会長の岡山重憲さんは「森は緑のダムとなつて私たちの暮らしを支え、地球温暖化も抑えてくれます。しかし、里山は人の手がなければ維持できないものです。守り、育て、受け継いでいくためには、皆さんに少しでも森に興味を持ってもらうことが大切ですね。」と話してくれました。



クイズラリーなどを交えながらわかりやすく木や森の説明をするメンバー。



会長の岡山重憲さん

森を守り、育て、受け継ぐ活動を。

富山県フォレストリーダー協会



「森の寺子屋」として出前講座と森林教室を開いています。少しでも多くの方に参加してもらい、元気な森を守っていきたくです。

元気いっぱい！ とやまにぎやかファミリー

安田さんご一家
(南砺市)

パパママコメント

個性あふれる四兄妹です。
みんな仲良しなので助かっています！



県では、第4子以上のお子さんが生まれた家庭をお祝いするため、保護者とお子さんが県立の文化・スポーツ施設等を無料で使えるパスポートの発行などを行っています。このコーナーでは、第4子以上のお子さんが生まれたご家庭をご紹介します。



(お問合せ) 県子ども支援課 TEL 076-444-3208

この土地でしかできない チーズを作る。

吉田さんが作ったヤギチーズが、5月にイタリアで行われた国際コンテストで最優秀賞を獲得した。受賞は2度目。「チーズの主原料は黒部で育ったヤギの乳と富山湾の深層水塩のみ。これからも、黒部でしか作れない味を届けていきたいですね。」と語った。これからも最高のチーズ作りを目指していく。



チーズプロダクツマネージャー 吉田朋美さん



とやま Made in Toyama 物語

有限会社 吉田興産
(黒部市)

製品は同社のほか、昨年6月4日のオープンから1周年を迎えた「日本橋とやま館」においても販売中。

富山米新品種名称発表会の様子



特集

富山づくしのお米

富山の新しいブランド米、「富富富」(ふふふ)が誕生!



高温や病気に強く、倒れにくい、食味もコシヒカリとは一味違った美味しさの「富山米」新品種。

その名称が「富富富」に決まりました。今後、平成30年産からの本格販売に向けて、生産・販売戦略を検討していきます。

富山米のブランド力強化

富山県産米については、平成27年・28年産のうるち玄米の1等比率が90%を超え、

日本穀物検定協会の食味ランキングでは平成26年から3年連続「特A」に格付けされるなど、高い評価を得ています。しかしながら、本県産米の代表品種である「コシヒカリ」は草丈が長く倒伏しやすいことや、近年の温暖化傾向の中で品質が不安定なこと、いもち病に弱いなどの課題があります。また、激しい産地間競争が続いており、富山米のブランド力の強化を図るためにも、課題を克服しながら、美味しさを最大限に引き出した、生産者にも消費者にも喜ばれる新品種の開発が求められていました。

新品種の開発

そこで県では、平成15年度から県農業研究所において遺伝子の特定やイネの交配などの研究に取り組み、26年度には約3千個体から16候補を選抜、27年度には3候補に絞り込み、28年度に現地実証や専門家による食味評価を踏まえて、最も優れた1系統を選抜しました。

「富富富」の特徴

炊き上がりがきれいで、しっかりとしたうまみと甘みがあり、香りがよいのが特徴です。

名称に込めた想い

- 富山の清らかな水、富山の肥沃な大地、富山の熱心な生産者が育てた富山づくしのお米。
- 食べた後の幸せな気持ち(ふふふ)を表しています。
- 「富」は、豊かさやめでたさにつながります。



普及指導員による「富富富」の生育確認の様子

名称の決定

平成28年10月から1か月間、名称を募集しておりましたが、県内外からの9411点ものご応募に心から感謝申し上げます。平成29年3月、都内で名称発表会を開催し、県出身女優の室井滋さん、女子レスリング金メダリストの登坂絵莉さんにもPRにご協力いただきました。

暑さに強くて
美味しいお米なんだね。



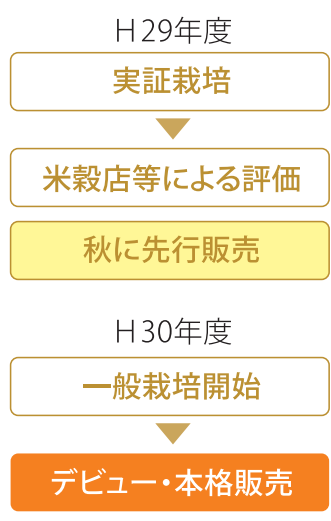
す。また、生産面では、草丈が短く倒伏しにくいことや、高温に強く高品質が保てること、また、いもち病に強いいため、農薬を減らした栽培が可能であることなど、安全・安心も届けられる品種です。

「とやま食の王国大使ふふふ」コンテスト

富山のことが大好きな方、富山のことをもっと知りたい方、笑顔が素敵な方、自分をもっと輝かせたい方、ぜひご応募ください!県内外で「食のとやまブランド」のPRキャンペーン等で活躍していただきます。

- 応募資格** 満18歳以上の富山県在住の方 (性別・既婚・未婚を問わない。高校生を除く)
- 募集期間** 6月1日(木)~7月7日(金)
- 賞品** とやま食の王国大使ふふふ(3名)に選ばれた方に
★富山県産米60kg、旅行券5万円分
上記以外の応募された方全員に、富山県産米を進呈
- 審査方法** 第1次審査：書類
本審査：7月29日(土)(面接)

※詳しくはHPをご覧ください。HP 越中とやま食の王国 <http://www.shoku-toyama.jp/>



平成30年秋に本格デビュー
平成29年度は、栽培技術の確立に向けた実証栽培を県内23か所の約7ヘクタールで実施し、秋に一部先行販売を行います。30年度からは一般栽培を開始し、いよいよ本格販売を始めます。
今後とも、「富富富」が全国の消費者及び生産者から愛され、本県を代表するブランド米として育つよう取り組んでまいります。

平成27年の富山県の医薬品生産金額は7325億円となり、初めて全国第1位となりました。

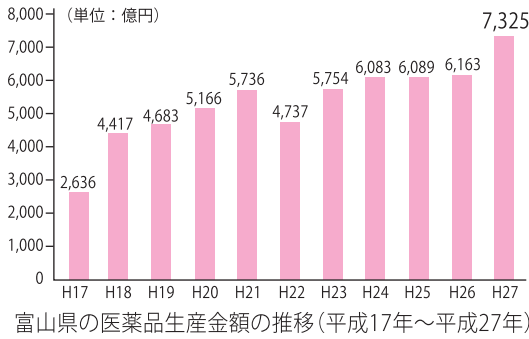
県では、医薬品産業をさらに飛躍させるため、付加価値の高い製品の開発や国際展開等への支援、産業を支える人材の育成などに取り組んでいきます。

「くすりの富山」の強み

「くすりの富山」の歴史は、今から300年以上前の江戸時代の配置薬業に始まります。「先用後利」という顧客との信頼関係のもとに成り立つ販売形態などを通じて、「くすりの富山」は全国に知られる地域ブランドとなりました。

県内には現在、新薬をはじめ、ジェネリック医薬品、一般用（OTC）医薬品、配置用医薬品など、多種多様な医薬品を製造する企業とともに、医薬品の包装容器等の周辺産業が集積しています。特に、貼り薬や塗り薬、目薬、吸入薬など、通常の飲み薬とは異なる特殊な医薬品を、高い技術で製造する企業が多く、本県で製造された医薬品は、国内のみならず海外にも販売されています。

※消費者に先に使用してもらい、使った分だけ、後で代金をいただく独特の販売形態

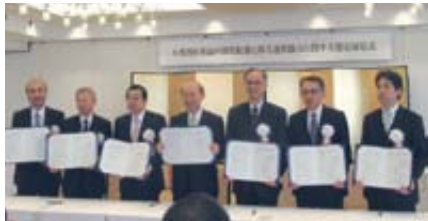


新製品開発や国際展開の推進

今後、富山県医薬品産業のさらなる振興を図っていくためには、海外市場への進出や新たな製品の開発を進めることが重要であり、平成28年6月に日本唯一の医薬品審査機関である（独）医薬品医療機器総合機構（PMDA）の北陸支部と日本の医薬品等の規制制度を学ぶアジア医薬品・医療機器トレーニングセンター研修所が本県に開設され、海外からの研修生を受け入れています。

また、平成28年度から国立医薬品食品衛生研究所と県の研究機関である薬事研究所では、生薬エキスをを用いた医薬品の開発を円滑化するための共同研究を実施しています。

さらに、医薬品のニーズも多様化しており、例えば小児用の医薬品については「苦味が少ない」など、より飲みやすい製品が求められています。このため、平成29年3月に国の機関や県内の大学・関係団体と小児用医薬品の開発を促進する連携協定を締結し、付加価値の高い製品の開発を積極的に進めていくこととしています。



国立成育医療研究センター等と連携協定締結

医薬品産業を支える人材の育成

薬事研究所では、製剤開発や創薬研究を支援するための製剤や分析等を行う各種機器を整備し、県内企業の支援はもとより県内大学

医薬品産業の振興

世界に注目される「薬都とやま」の実現を目指して

Q 県では、豊かな森づくりの推進にどのように取り組んでいるのか教えてください。

A とやまの森は、豊かな自然と水を育み、洪水や山崩れなどの災害から私たちの暮らしを守る大切な役割を果たしています。県では、とやまの森を守り育てるため、平成18年に「富山県森づくり条例」を制定しました。19年に導入した「水と緑の森づくり税」を活用し、里山林の整備、優良無花粉末「立山森の輝き」の植栽など多様な森づくりの推進や、森

林ボランティアの活動支援など、とやまの森を支える人づくりの推進に努めています。また、近年、激増する松くい虫被害を踏まえた海岸林の保全整備など、平成28年に策定した新たな「富山県森づくりプラン」に基づき、各種の取組みを進めることとしています。

これからも、県民の皆様とともに、とやまの森を守り育てる取組みを進めてまいります。

皆様のご意見をお待ちしています。
「元気とやま目安箱(知事への意見・提言)」係まで
●はがき・手紙：〒930-8501 県庁広報課 ●FAX.076-444-3478
●インターネット：http://www.pref.toyama.jp/tiji-form.html
◎この件のお問合せは…県森林政策課 TEL.076-444-3385
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1603/

県政 Q&A



生の製剤実習や中学・高校生を対象とした薬剤業務体験学習等を実施しています。

また、医薬品産業を工学の観点から支える人材を育成するため、富山県立大学工学部に全国で初めて医薬品工学科を平成29年4月に開設しました。



薬事研究所での実習風景

薬都とやまが世界に羽ばたくために

県では、今後大きな成長が期待されるバイオ医薬品等の開発を支援するため、薬事研究所に高度な分析機器等を整備した「未来創薬開発支援分析センター」(仮称)を設置し、平成30年度から供用を開始することとしています。



未来創薬開発支援分析センター(仮称)外観図

す。今後とも、本県の特徴・強みを活かしながら、世界に注目される「薬都とやま」の実現を目指して一層の取組みを進めていきます。

外観には、化学式を連想させる六角形のパネルを用い「未来創薬」を表現しています。1階には、4つの試験室を整備し、高度な分析機器等を設置します。2階には、3つの相談室を設け、県内企業等からの研究開発等の相談に対応します。

県内おでかけ情報

料金の()内は20名以上の団体料金



高志の国文学館

高志の国文学館開館5周年記念企画展
上橋菜穂子と〈精霊の守り人〉展

- 期間 6月11日(日)~7月10日(月)まで
- 時間 9:30~18:00(観覧受付は17:30まで)
- 料金 一般 500円(400円) 大学生 400円(320円)
小中高生無料

本展は、代表作〈精霊の守り人〉シリーズを中心に、その卓越した物語世界を紹介する初の大規模な展覧会です。シリーズ関連資料や文化人類学の研究資料、語り下ろしのインタビュー映像、テレビドラマ、アニメ、マンガの関連資料などで作品の魅力を紹介します。



◎富山市舟橋南町2-22 TEL.076-431-5492
http://www.koshibun.jp/

立山山麓家族旅行村

手作りクラフト体験会

- 期間 開催中~11月30日(木)まで
- 時間 10:00~16:00
- 料金 100円(工具貸出、材料支給)
- 場所 管理棟

素敵な手作り小物でお部屋を飾ってみよう!
[制作できるクラフトの例]
①バードコール(鳥寄せ笛)
②インテリアボード(壁掛けインテリア額)
③ペットボトルアクセサリ
④エコバック
⑤帽子のブローチ
⑥木の実で作る可愛いアクセサリ



◎富山市本宮花切1-22 TEL.076-481-1748
http://kazokumura.co.jp/

立山カルデラ砂防博物館

立山カルデラ砂防体験学習会の
参加者募集中

- 期間 7月から10月まで
- 対象 小学3年生以上
(小学生は保護者が同伴してください)
- 定員 各回40名
- 参加費 2,000円
(小学生は1,000円)



実際に立山カルデラを訪れて、その自然・歴史や砂防について体感する学習会の参加者を募集します。県庁や各市町村役場などで配布中の「立山カルデラ砂防体験学習会・応募のてびき」、または博物館のホームページにて、内容、コース、申し込み方法などをご確認の上、ご応募ください。

◎立山町芦峯寺字ブナ坂68 TEL.076-481-1363
http://www.tatecal.or.jp/

県民公園自然博物館「ねいの里」

竹細工づくりとヘイケボタル鑑賞

- 期間 6月17日(土)、24日(土)
- 時間 17:00~21:00
- 料金 無料(工具貸出、材料支給)

夕方に竹細工や竹アンドンを作り、クイズ等によりホテルについての学習を行います。また、ホテル出現までの間、ホテルの解説、クイズやイブニングハイクを行います。
※小学生以下は保護者同伴



◎富山市婦中町吉住1-1 TEL.076-469-5252
http://www.toyamap.or.jp/shizen/

県政の動き

最近の動き

- 11 第68回全国植樹祭ボランティア委嘱状交付式
- 14 富山一台北便就航5周年記念式典
- 17 第1回県内大学の振興と人材の育成・確保に関する懇談会
- 23 富山湾岸サイクリング2017
- 29 富山県美術館屋上庭園「オノマトベの屋上」オープン
- 30 富山県立大学看護学部新築工事起工式

5月

- 2 春の叙勲伝達式
- 7 県民ふるさとの日記念式典
- 8 第1回富山県食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議
- 14 富山県スポーツフェスタ総合開会式
- 17 富山新湊マリーナ拡張整備概成記念式典
- 28 第68回全国植樹祭式典

今後の予定

- 6月 9 県議会定例会(~27日)
- 18 エコライフ・アクト大会
- 7月 9 とやま移住・転職フェア(東京)
- 16 ヨットレース「タモリカップ富山大会」

TOPICS

1 食中毒を予防しよう

■お肉はしっかり焼いて食べましょう

夏は、バーベキューなどの機会が多くなります。

お肉は中心部まで十分に加熱し、調理器具の洗浄や手洗いも丁寧にいきましょう。

■魚類の寄生虫に注意しましょうー全国的にアニサキスによる食中毒が増えていますー

サバ、サンマ、イカ等の魚類には、2~3cmの白い糸状の寄生虫「アニサキス」が付いていることがあります。食中毒の予防には加熱が最も有効です。生で食べる場合は、より新鮮なものを選び、すみやかに内臓を取り除いてください。

◎内容についてのお問合せは 県生活衛生課 TEL.076-444-3230

2 エコライフ・アクト大会 参加無料

6月は環境月間。今年のイベントテーマは「食品ロス・食品廃棄物の削減」です。生活の中でごみや二酸化炭素をできるだけ出さないエコライフについて、身近にできることを考えてみませんか!みなさんぜひご参加ください!

日 時 6月18日(日)13:30~15:00
場 所 総曲輪グランドプラザ(富山市総曲輪3-8-39)
内 容 式典(表彰等)、展示(環境月間ポスター受賞作品等)
エコライフに関するステージイベント

◎問合せ先 県環境政策課(TEL.076-444-3141、FAX.076-444-3480)
(公財)とやま環境財団(TEL.076-431-4607、FAX.076-431-4453)



元気レシピ

トマトの豚肉巻きと新玉ねぎのマリネ



【材料・分量(2人分)】 1人分約279kcal

- トマトの豚肉巻き/豚もも(薄切り)…160g、トマト…小2個、薄力粉…少々、塩…少々、こしょう…少々、オリーブ油…小さじ1
- 新玉ねぎのマリネ/新玉ねぎ…大1/2個、青じそ…4枚、みょうが…1個、パプリカ(黄)…1/2個、トマト…適量、酢…大さじ1、オリーブ油…大さじ1、Aレモン汁…小さじ2、砂糖…小さじ1、塩…適量、こしょう…適量

作り方 ①トマトは豚肉巻き用に3枚輪切りにし、残りは刻む(マリネ用)。②塩こしょうした豚肉でトマトを包み、薄力粉を全体にまぶす。③フライパンにオリーブ油を熱し、中火から弱火で②を焼く。④Aの調味料を混ぜる。⑤新玉ねぎは薄切り、青じそは千切り、みょうがは小口切りにする。パプリカは細切りにし、さつと湯に通す。⑥⑤と刻んだトマトをすべて混ぜ、Aとあえる。⑦器にマリネとトマトの豚肉巻きを盛り付ける。★お好みの季節の野菜を彩りよく飾りましょう (協力)高岡市食生活改善推進協議会

のばそう 富山県では、健康寿命日本一を目指しています。
健康寿命をのばすため、正しい生活習慣、食習慣を心がけましょう。
詳しくは とやま健康ラボ 検索

県政クイズ



○の中に言葉を入れてください。(ヒントは「特集1」にあります。)

富山県では、富山米新品種の名称を「○○○」に決定し、平成30年産からの本格販売に向け、生産・販売戦略の検討に取り組んでいます。



正解者の中から10名の方に、平成28年産で食味ランキング「特A」を獲得した
県産米てんこもり(5kg)をプレゼント

はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢と本紙の感想を記載し、下記まで。当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。※ご記入いただいた個人情報は、厳正な管理のもとで取り扱い、アンケート集計とプレゼント発送にのみ利用します。

宛先/〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課「県広報とやま6月号クイズ係」 ●締切6月21日(水)必着

県広報とやま
次回発行は
8月だよ!



◆県広報とやまに関するご連絡、ご質問はこちら
〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課
TEL.076-444-3134 FAX.076-444-3478
E-mailは次のアドレスのフォームよりお送りください
http://www.pref.toyama.jp/form.html

「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折込みにより各家庭にお届けし、県の各施設や市役所・町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しています。また、本号とバックナンバーは、広報課のホームページで閲覧できます。

●広報課ホームページhttp://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1118/

平成29年6月4日発行 企画・発行 富山県経営管理部広報課(富山市新総曲輪1番7号) 編集協力(株)チューエツ
※「県広報とやま」は環境に配慮し、植物性大豆油インキと再生紙を使用しています。※下記の広告の内容に関する一切の責任は
広告主に帰属します。なお、広告の掲載については、(株)ホープ(TEL.092-716-1404)までお問い合わせください。

アプリ「マチイロ」

無料アプリ「マチイロ」
では、スマートフォンや
タブレットで広報紙を
ご覧いただけます。

